

当院では従来の血糖測定器、インスリン治療などの他、下記の持続血糖測定器(CGM: Continuous Glucose Monitoring)、SAP(Sensor Augmented Pump)療法を用いた治療も行っております。

疾患によって使用可能な機器の制限がありますのでまずはお気軽にお問い合わせをお願いいたします。

### ●インスリンポンプ(ミニメド™770G システム)・

予測アラート機能付き リアルタイム CGM(ガーディアン™コネクト)

(SAP 療法:(Sensor Augmented Pump)パーソナル CGM 機能を搭載したインスリンポンプ療法です。)

インスリンポンプは、インスリンを持続的に注入する小型のポンプです。2～3 日に 1 回針を刺すだけで、簡単なボタン操作でインスリンの注入量や注入タイミングを調整でき、人目を気にせずに注入できます。

SAP 療法(サップ療法)とは、リアルタイム CGM(血糖の自動測定機器)を併用したインスリンポンプ療法のことです。腹部の装着した血糖測定器で測定されたグルコース値がインスリンポンプのモニタ画面に表示され、血糖値が一定の範囲を超えて上昇または低下した場合、アラート(音や振動)でお知らせします。また、グルコース値があらかじめ設定した下限値に到達、または下限値に近づくと予測されると、基礎インスリンを自動で一時停止し、グルコース値が回復すると基礎インスリン注入を自動で再開する機能があります。特に最近では、HCL (HYBRID CLOSED LOOP: ハイブリッドクローズドループ) 療法という、血糖測定のセンサーとインスリンポンプが連動時、基礎インスリン

を自動調整してくれる機能が主流となりつつあります。



### ●フリースタイルリブレ/フリースタイルリブレ Pro

フリースタイルリブレは、腕に貼付した丸い機械にモニターやスマートフォンをかざすことで血糖値や、1日の血糖の推移をモニターを通して確認することができます。8時間を超えないようモニターをかざす必要があります。貼付期間は14日間です。

フリースタイルリブレ Pro も 24 時間の血糖推移を確認可能ですが、患者さん自身が血糖値を確認することはできませんが、病院で医療者がモニターを用いて 24 時間の推移を確認することができます。1 度だけ装着を行い推移を確認が必要な方などに適しています。





## ●テルモ Sexcom G6

腹部にセンサーを貼り付けて、グルコース濃度を連続的に測定できます。

測定値は5分おきに自動測定され、モニターやスマートフォンに血糖値や血糖推移に記録されます。また、グルコース濃度が設定した目標範囲外になったことを通知する機能や、20分後に低血糖になる可能性を予測してアラートを出す機能も有しています。

